

# 石垣市

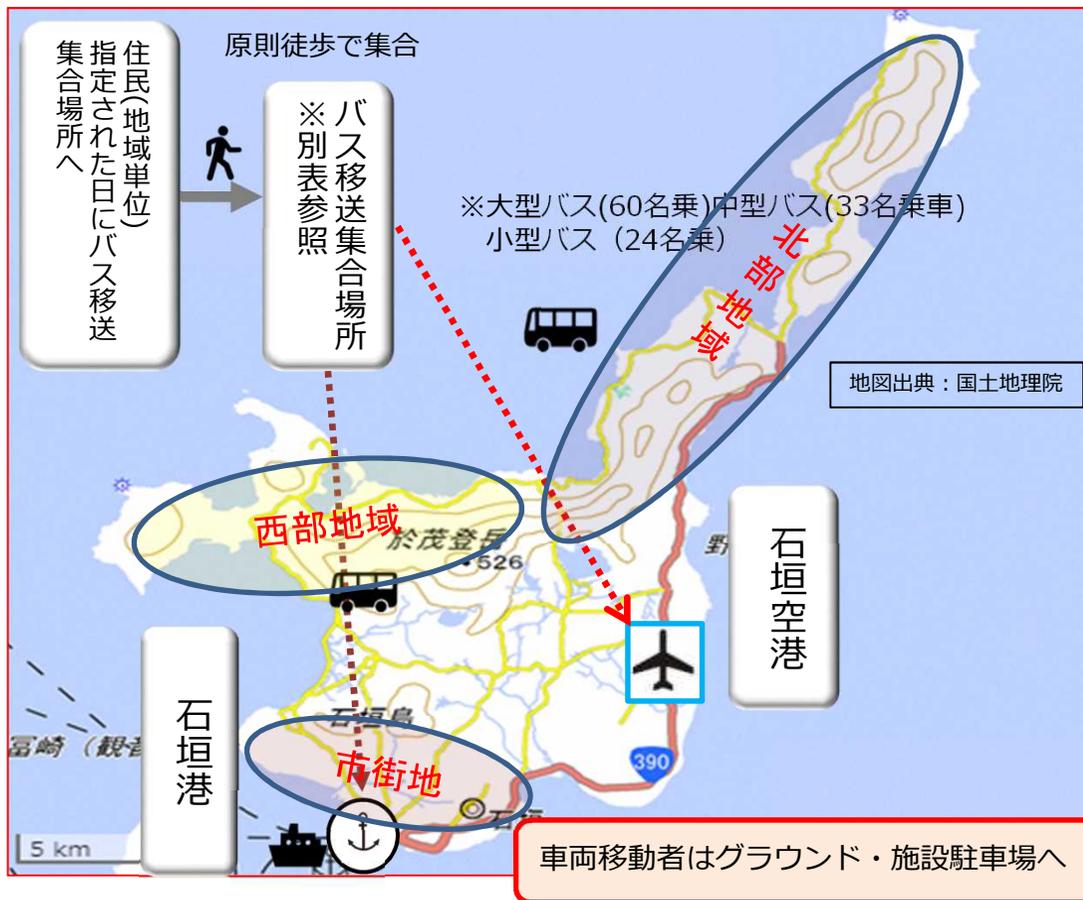
※本資料は、島外避難の検討等に係る意見交換時に案出した一例であり、特定の事態を想定したものではない。

## 避難誘導の方法（全般的方針）

- 沖縄県国民保護計画並びに県の避難方針に基づき、全住民（滞在者含む）について、別途定めた日時から避難を開始（避難誘導等に係る市職員は除く）し、県が調達した航空機、船舶をもって避難先（福岡県）へ避難を完了させる。
- 避難順は空港から遠い地区や交通アクセスが脆弱な北西部の住民から開始する。

## 島内の避難誘導の基本的な考え方（右図参照）

- 空港から遠い地域や交通アクセスの弱い北西部地域の集落単位で順次避難させる。
- 地域単位（字別）での避難とし、小規模集落については学校区で振り分ける。
- 住民は、バス移送集合場所へ割当てられた日時に集合し、避難手続きののち、航空機のダイヤに合わせ空港へ誘導する。
- 要支援者・ペット同伴者の輸送手段は旅客船・フェリーを活用し避難する。



## 島外輸送計画 別紙イメージ参照

- 県が調達した避難用機材（航空機・船舶）の運航ダイヤに基づき、6日以内で全住民が島外避難。
- 市職員の避難誘導、避難者手続き、空港GH、保安検査などの円滑化が課題

## 島内輸送計画 別紙イメージ参照

- 県が確保した航空機等の運航ダイヤに合わせて、バス移送集合場所→空港へ市が確保したバスで輸送  
※島内バス会社4社計77台（大型62台（60名乗り）、中型6台（33名乗り）、小型9台（24名乗り）
- バス移送集合場所までの移動手段は、原則徒歩。避難行動要支援者、移動距離が長い方々は車両移動可能とし、市が指定する場所駐車。（学校グラウンド・施設駐車場）

## 残留者の確認方法等

- 確認者：自治会長、市職員、沖縄県警等、（自衛隊）
- 派遣された職員等は、観光客等一時滞在者も、宿泊施設等の協力を得て、残留者の有無を確認する。
- 避難完了した地区は、沖縄警察等に要請し、警備を強化する。

## 避難要領の通知・伝達要領

- 防災行政無線、市HP、公式SNS、市広報誌、新聞、広報車、消防車、テレビ、ラジオ等を用いて伝達する。
- 伝達系統は、台風等の自然災害の防災計画に準じる。

## 1. 避難者数

- ①石垣市（48,943人）：入域観光客数3,700人
- ②竹富町（4,302人）：入域観光客数2,386人
- ③与那国町（1,707人）：入域観光客数68人

## 2. 避難実施単位

地域単位（字別）での避難とし、小規模集落については集合場所への距離ではなく学校区を考慮する。

北西部住民から優先的に避難（図上訓練）

平久保	久宇良	20	吉野	1	平久保	52	平野	37
伊原間	伊原間	158	明石	121				
野底	栄	82	下地	123	兼城	63	多良間	46
桃里	星野	166	伊野田	143	大野	11		
桴海	米原	139	富野	24	大田	28	伊土名	55
崎枝	崎枝	131						
名蔵	名蔵	291	元名蔵	70				
川平	川平	582	大嵩	15	仲筋	9	吉原	250
白保	白保	1554	大里	96				
宮良	宮良	1733						
大浜	大浜	3682	磯辺	549	川原	233	三和	33
平得	平得	2794	開南	60				
真栄里	真栄里	5854	於茂登	65				
登野城	登野城	9574	嵩田	139				
大川	大川	3357						
石垣	石垣	3971						
新川	新川	8438						
美崎町	美崎町	409						
新栄町	新栄町	2362						
浜崎町	浜崎町	1112						
八島町	八島町	311						
合計								
竹富町	竹富町	4302						
与那国町	与那国町	1707						

国民保護島外避難における集合場所・バス割振表

バス移送場所	対象地域	使用台数			避難者数	備考
伊原間中学校	伊原間地区以北（平野まで）、伊原間地区以西（伊土名まで）	13			758	
伊野田小学校	大野・伊野田・星野・大里	7			416	
富野小中学校	米原・富野・大田	3		1	191	
川平小中学校	吉原・大嵩・川平	14		1	856	
崎枝小中学校	崎枝	1			131	
名蔵小中学校	元名蔵・名蔵・嵩田	5	2		361	
大本小学校	於茂登・開南	1	2		264	
川原小学校	川原・三和	4	1		266	
白保小学校	白保（大里除く）	26			1,554	
宮良小学校	宮良	28	1	1	1,733	
大浜小学校	磯辺・大浜（川原除く）	8		3	4,231	
大浜中学校	大浜	63		2		
八重山商工高校	真栄里・八島町				6,165	※真栄里地区を町内分割する
総合体育館	平得・真栄里・				2,794	※真栄里地区を町内分割する
登野城小学校	登野城	158		3	9,574	
八重山農林高校	大川	56			3,357	
石垣小学校	石垣	65		3	3,971	
石垣中学校	新川				8,438	※新川地区を町内分割する
真喜良小学校	新川（真喜良）					※新川地区を町内分割する
新川小学校	新栄町	39		1	2,362	
市民会館	美崎町・浜崎町	25		1	1,521	

48,943

	大型バス	中型バス	小型バス
最大乗車人数	60	33	24

東運輸	29	2	4
かびら観光交通	9		4
石垣島イーグル観光	18	4	1
カリー観光	6		

## ✈️ 1日最大8,780名※の輸送力

- ▶ 臨時運航機調達（B738等）
  - ▶ 石垣—福岡（約2時間）を骨幹輸送に位置づけ  
東京2便・大阪1便・名古屋1便は縁故避難者用のみ  
合計：一日52便の運航（調整中）
  - ▶ 空港GH・保安検査・避難手続き等の円滑化
  - ▶ 空港までの島内輸送の円滑化
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する

## 🚢 1日最大約1,500名※の輸送力

- ▶ 近海使用の船舶調達
  - ▶ 石垣港—鹿児島港の区間を検討  
定員500名×3便→1,500名
  - ▶ 要支援者、ペット同伴者等を想定
  - ▶ 近海区域を航行可能な船舶を国（内閣官房・国土交通省）の支援の下、確保
  - ▶ 事業者のみならず、公船や海上保安庁、自衛隊の船舶の確保も並行して検討
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する

## 島外輸送力 ➡️ 1日あたりの最大輸送力 ✈️ + 🚢 計約10,280名※

※最大輸送力は今後の調整で増減する

バス移送計画に基づき、航空ダイヤに合わせバス移送場所（地区ごと）から移送  
※移送場所へは原則徒歩、車両移動者は学校グラウンド、または施設駐車場へ駐車。

- 〈輸送力確保と避難誘導の方針〉
- ☞ 一般の避難者の島外輸送力の主力は海路とし、空路も補完的に活用。
  - ☞ 要配慮者は、空路を主力としつつ、船舶も補完的に活用。
  - ☞ 船舶が着岸できない場合（目安の波高6m）は、空路のみの輸送となる。（別パターンで整理）



バス移送集合場所の真喜良小学校には原則徒歩で集合後、南ぬ島石垣空港まで以下のとおりバスで移動、8：35発の航空機で福岡空港に避難



※バス会社（指定公共機関）との配車調整は今後の調整とする。



● ← バス移送集合場所

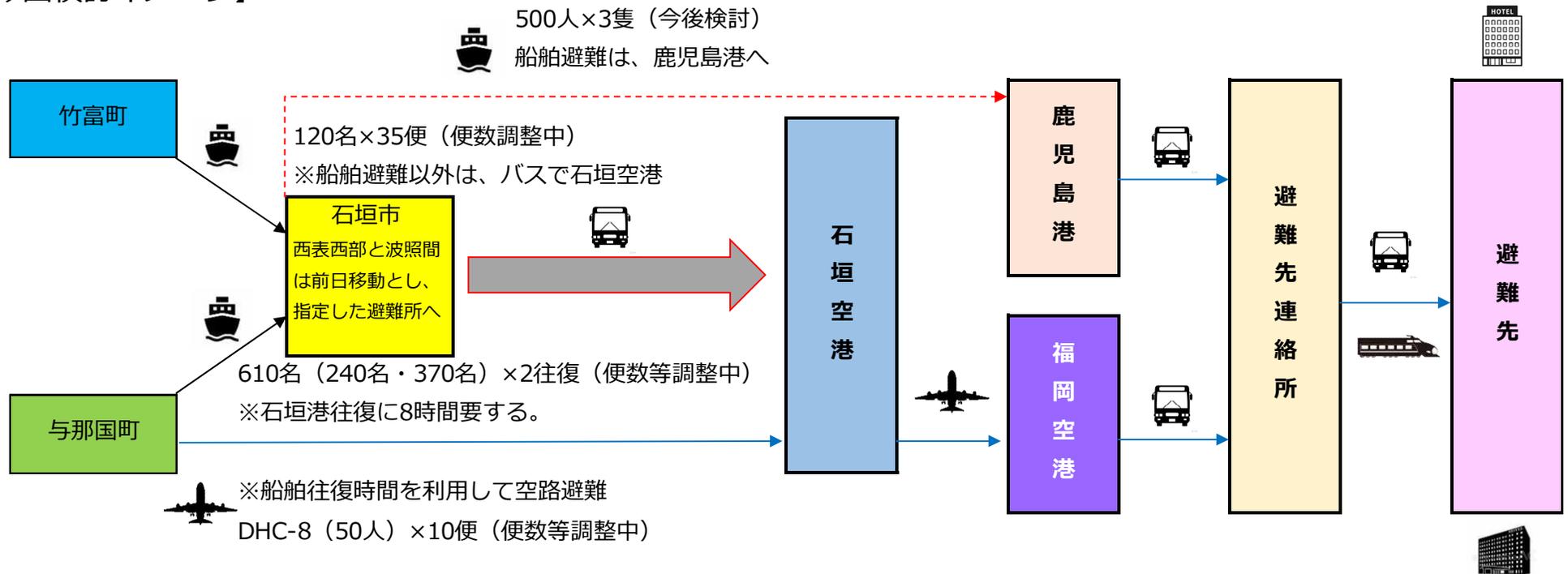
バスの輸送ルートは3ルートとし、搭乗便ごとにルートに分ける



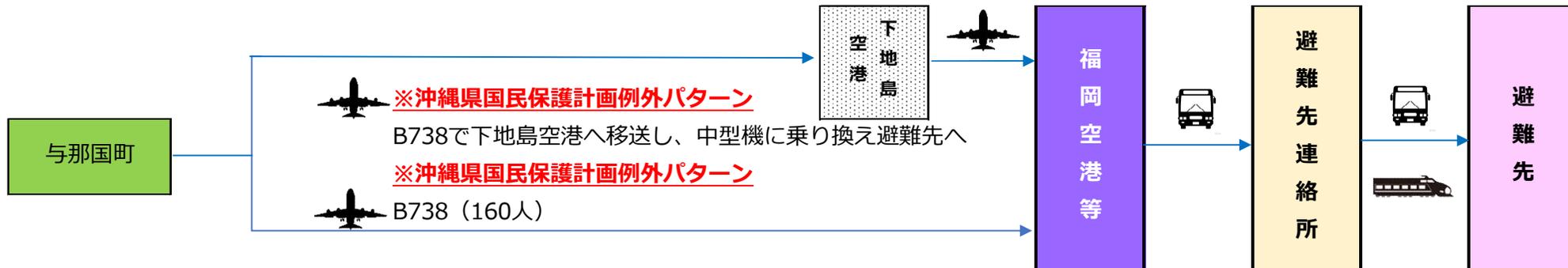
国道390号白保エネオス〜県道211までの区間は許可車両以外の進入禁止区間とする。

バスの輸送ルートは3ルートとし、搭乗便ごとにルートを分ける

## 【今回検討イメージ】



## 【別パターン案 (今後必要に応じて検討が必要)】



※今後、与那国から下地島空港に向かうパターン、直接県外へ向かうパターンも検討する必要があるのではないか。  
(フライト時間が長いことが難点)

# 多良間村

※本資料は、島外避難の検討等に係る意見交換時に案出した一例であり、特定の事態を想定したものではない。

## 避難誘導の方法（全般的方針）

- 県の避難の方針に基づき、村は、全住民及び滞在者等について、別に定める日時から避難を開始し、県等と調整し確保したフェリー及び航空機をもって、全住民が1日で島外（宮古島市）に避難し、（避難に関係する役場職員等の要員を除く）、その後、宮古島市から九州への避難を完了する。
- この際、要配慮者等の避難を優先する。

## 島内の避難誘導の基本的な考え方（右図参照）

- 多良間島島内を塩川地区と仲筋・水納地区に分け、天候等により前泊港、普天間港、多良間空港から避難
- 住民は、一時集合場所（塩川地区：多良間中学校、仲筋・水納地区：多良間小学校）に集合後、県の確保した船舶等のダイヤに間に合うように港及び空港へ移動
- 要配慮者は、航空機、フェリー等の輸送手段により避難



## 島外輸送計画 別紙イメージ参照

- 県等と調整し確保した船舶及び航空機の運航ダイヤに基づき、島外（宮古島市）へ避難  
宮古島市での一時待機場所はマティダ劇場とする。（一時待機場所から宮古空港への誘導等は市と要協議）
- 波浪等により船舶が入港できない場合は、航空機の臨時運航の最大化を図る。  
※上記については、今回具体案は未検討(次年度以降具体化予定)。夜間照明施設等や滑走路の関係でDHC-8の運航に限られる。

## 島内輸送計画 別紙イメージ参照

- 県が確保した船舶及び航空機の運航ダイヤに合わせて、一時集合場所→各港及び空港へは村で確保したバス及び宮古島市から搬入したバスで輸送  
※村営有償バス1台（マイクロバス22名乗）公用バス1台（22名乗）、宮古島市からのバス5台（25名乗）
- 一時集合場所までの移動手段は、原則徒歩。村の認めた避難行動要支援者等で、車両で一時集合場所に移動する場合は、村の別途指定する駐車場に駐車。

## 残留者の確認方法等

- 確認者：役場職員、消防団、警察等
- 派遣された職員等は、観光客等一時滞在者も、宿泊施設等の協力を得て、残留者の有無を確認する。
- 避難を完了した地区は、必要に応じ警備を強化する。

## 避難要領の通知・伝達要領

- 防災行政無線、村HP、防災メール、広報車、テレビ、ラジオ等あらゆる手段を活用し伝達する。
- 伝達系統は、地域防災計画に準ずる。

多良間村 地区ごとの人口分布、世帯数等（R4年12月末時点 出展：村世帯数調票）						
	世帯	人数	避難行動 要支援者	左記のうち行 政支援が必要 な方	一時避難場所	収容人数
塩川地区	370	767	17	7	多良間中学校	345
仲筋地区	156	314	8	6	多良間小学校	330
水納地区	3	4	0	0		
入域者	—	20	—	—		
計	529	1,105	25	13		

## 🚢 1日最大900名※の輸送力

- ▶多良間海運「フェリーたらまⅢ」が運航
- ▶宮古-多良間間を1日3便、所要約2時間
- ▶定員150名→臨時定員300名（条件付で車両積載スペースも搭乗可とし定員の大幅増）
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する

## ✈️ 1日最大400名※の輸送力

- ▶通常運行機の頻度増（RACのDHC-8）
- ▶多良間-宮古間約25分、2機で1日8便を確保
- ▶定員50名
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する

島外輸送力

1日あたりの最大輸送力  
 🚢 + ✈️ 計1,300名※  
 最大輸送力は今後の調整で増減する

平素の5倍以上の輸送力を確保



島内輸送力

- 保有バス（計：169名）
- ・島内バス22名乗り2台 = 44名
- ・宮古島市バス25名乗り5台 = 125名（バス5台は宮古島市から搬入）

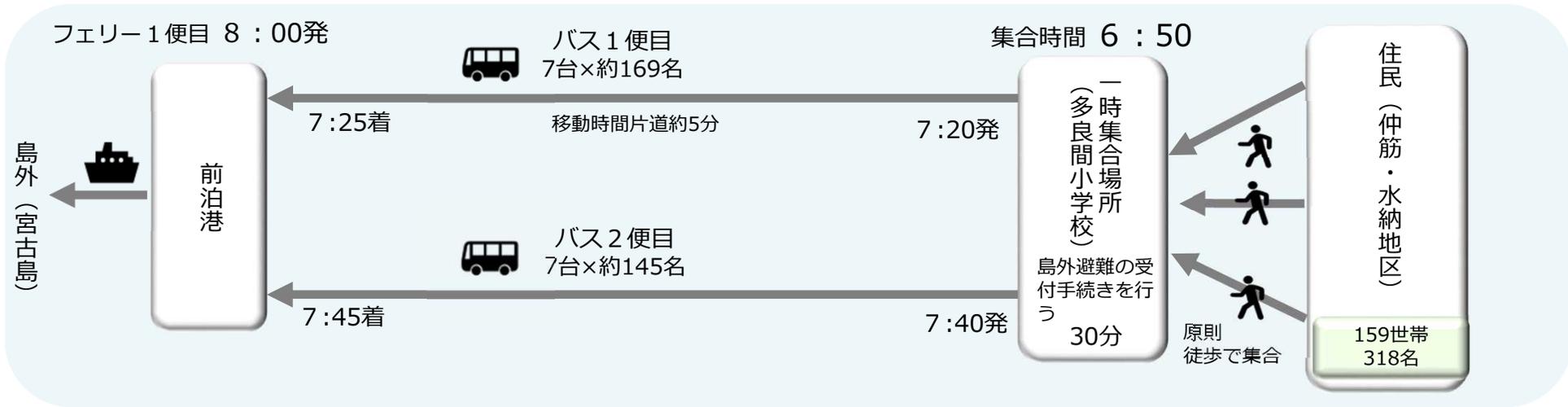
船舶及び航空機の出航時刻に合わせバスを運行

〈地区別人口〉R4年12月時点

塩川地区	370世帯	767名
仲筋地区	156世帯	314名
水納地区	3世帯	4名
計	529世帯	1,085名

- 〈輸送力確保と避難誘導の方針〉
- ☞一般の避難者の島外輸送力の主力は海路とし、空路も補完的に活用。
  - ☞要配慮者は、空路を主力としつつ、船舶も補完的に活用。
  - ☞船舶が着岸できない場合（目安の波高4m）は、空路のみの輸送となる。（別パターンで整理）

例えば、仲筋・水納地区の住民が、一時集合場所の多良間小学校に6：50に原則徒歩で集合後、前泊港まで以下のとおりバスで移動、8：00出港の船舶で避難する輸送イメージ（前泊港の場合）



例えば、仲筋・水納地区の住民が、一時集合場所の多良間小学校に6：20に原則徒歩で集合後、普天間港まで以下のとおりバスで移動、8：00出港の船舶で避難する輸送イメージ（普天間港の場合）



# 宮古島市

※本資料は、島外避難の検討等に係る意見交換時に案出した一例であり、特定の事態を想定したものではない。

## 避難誘導の方法（全般的方針）

○本市住民及び滞在者等の島外避難（宮古島→鹿児島県 直行）については、国・県で確保した航空機等の運行計画に合わせ、島内輸送機関と調整しバスによる宮古空港（1日あたり6,434人）、下地島空港（1日あたり3,570人）への避難者の輸送を行う。

※二次離島となる大神島島民については、船舶により宮古島本島までの輸送を行う。

○避難施設（一時集合場所）を小学校区単位で開設。

島内の避難誘導の基本的な考え方  
（右図参照）

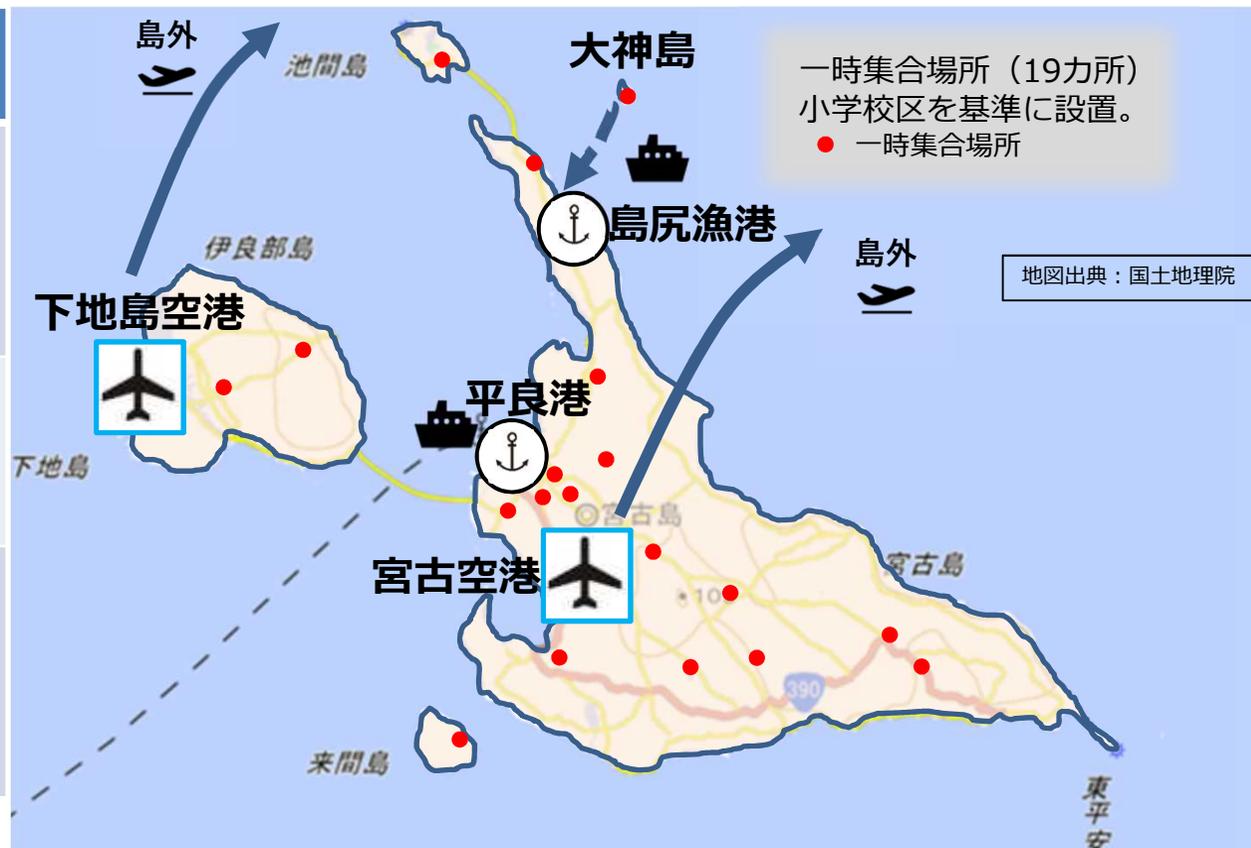
○避難単位は、両空港の輸送能力に応じ、学区別、行政区別で振り分ける。（別紙参照）

※多良間島からの避難者については、状況に応じ、両空港へ輸送。

○縁故避難等については、柔軟に対応。

○要配慮者については、地区分けはせず、柔軟に対応。

○住民は、避難施設（一時集合場所）に集合後、国・県の確保した航空機のダイヤに間に合うように空港へ移動。



## 島外輸送計画

- 国・県が調達した航空機・船舶の運航ダイヤに基づき、6日程度で全住民が島外避難。
- 国・県で避難先での宿泊施設を確保。

## 島内輸送計画

- 国・県が確保した航空機の運航ダイヤに合わせて、避難施設（一時集合場所）→各空港へ市で確保したバスで輸送。
- 大神島島民は島尻漁港（船舶）を經由し、空港（バス）で輸送。  
※大型バス必要数 宮古空港行き 16～19台、下地島空港行き 8～12台 計 24～31台
- 各学区単位で一時集合場所（避難施設を兼ねる）を開設。
- 一時集合場所までの移動手段は、原則徒歩。要配慮者等で、車両で一時集合場所に移動する場合は、グラウンド等、市の別途指定する駐車場に駐車。
- 避難者の受付は一時集合場所で行う。

## 残留者の確認方法等

- 確認者：職員、消防団、警察、自治会長等
- 派遣された職員等は、観光客等一時滞在者も、宿泊施設等の協力を得て、残留者の有無を確認する。
- 避難を完了した地区は、必要に応じ警察に要請し、警備を強化する。

## 避難要領の通知・伝達要領

- 防災行政無線、市HP、公式SNS（LINE、Twitter、Facebook等）、広報車、消防車、テレビ、ラジオ等あらゆる手段を活用し伝達
- 住民に正確かつ積極的に情報を発信するため、広報を一元化し、県と連携した広報体制を構築する。

避難者数は、下記の表のとおり。  
 一時集合場所を避難施設も兼ねて設置。  
 一日あたりの輸送力は約 11,504 人。平良地区以外の地区（城辺、上野、下地、伊良部地区）であれば、一日で地区単位の避難が可能のため、可能な限り地域コミュニティに配慮する。

宮古島市 行政区別人口等（R4年3月時点 出展：住民基本台帳）

No.	小学校区	地域区分	行政区名	人口	圏域外避難・県外避難			移動時間	輸送における必要台数		
					一時集合場所	空港	港		バス	航空機	船舶
17	上野小学校	宮古島	新里	435	別紙参照	宮古空港		10分	70	24	
			新里団地	19							
			新里第二団地	9							
			新里宿舎	20							
			ユニマツト寮	5							
			高田	199							
			高田団地	130							
			高田第二団地	43							
			上野	225							
			上野第一団地	117							
			上野第二団地	62							
			野原	182							
			野原団地	15							
			豊原	244							
			県営上野団地	118							
豊原官舎	45										
千代田	942										
				3,806	上野小学校						

# 島外輸送計画の全体イメージ（宮古島市の例）

調整中

訓練用

8 - 4

## ✈️ 1日最大3,570名※の輸送力

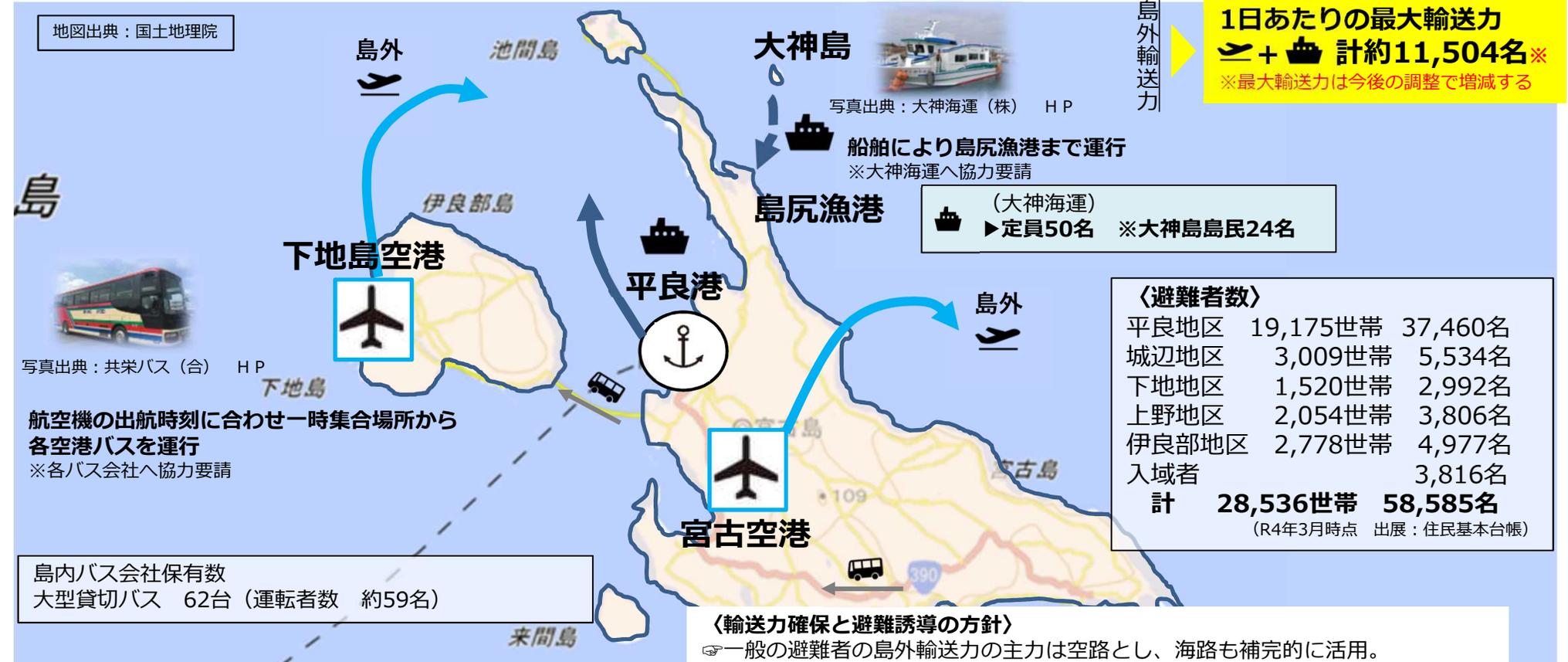
- (下地島空港)
- ▶通常運航機の**頻度増** (B738)
  - ▶宮古-鹿児島(約2時間)を骨幹輸送  
東京便は縁故避難者用のみ  
合計:一日21便の運航(調整中)
  - ▶通常仕様(B738:定員170名)
  - ▶空港GH・保安検査・避難手続き等の円滑化
  - ▶空港までの島内輸送の円滑化
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する

## ✈️ 1日最大6,434名※の輸送力

- (宮古空港)
- ▶通常運航機の**頻度増** (B738、A321等)
  - ▶宮古-鹿児島(約2時間)を骨幹輸送  
東京・大阪・名古屋便は縁故避難者用のみ  
合計:一日40便の運航(調整中)
  - ▶通常仕様(B738:160名、A321:194名)
  - ▶空港GH・保安検査・避難手続き等の円滑化
  - ▶空港までの島内輸送の円滑化
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する

## 🚢 1日最大約1,500名※の輸送力

- ▶近海使用の船舶調達
  - ▶平良港-鹿児島港の区間を検討  
定員500名×3便→1,500名
  - ▶**要支援者、ペット同伴者等を想定**
  - ▶近海区域を航行可能な船舶を国(内閣官房・国土交通省)の支援の下、確保
  - ▶事業者のみならず、公船や海上保安庁、自衛隊の船舶の確保も並行して検討
- ※最大輸送力は今後の調整で増減する



※本資料は、島外避難の検討等に係る意見交換時に案出した一例であり、特定の事態を想定したものでない。

例えば、一時集合場所からの移動時間が20分の場合、大型バス3台を1グループとし、5グループで輸送。（約15台）

※島内バス会社へ協力要請

※移動時間 片道20分、乗降時間 各10分、搭乗手続き 約100分



## 宮古空港・バス運行時刻表①

一時集合場所：県立宮古高等学校、平良中学校、北中学校、狩俣中学校、西辺中学校

バス移動：約20分

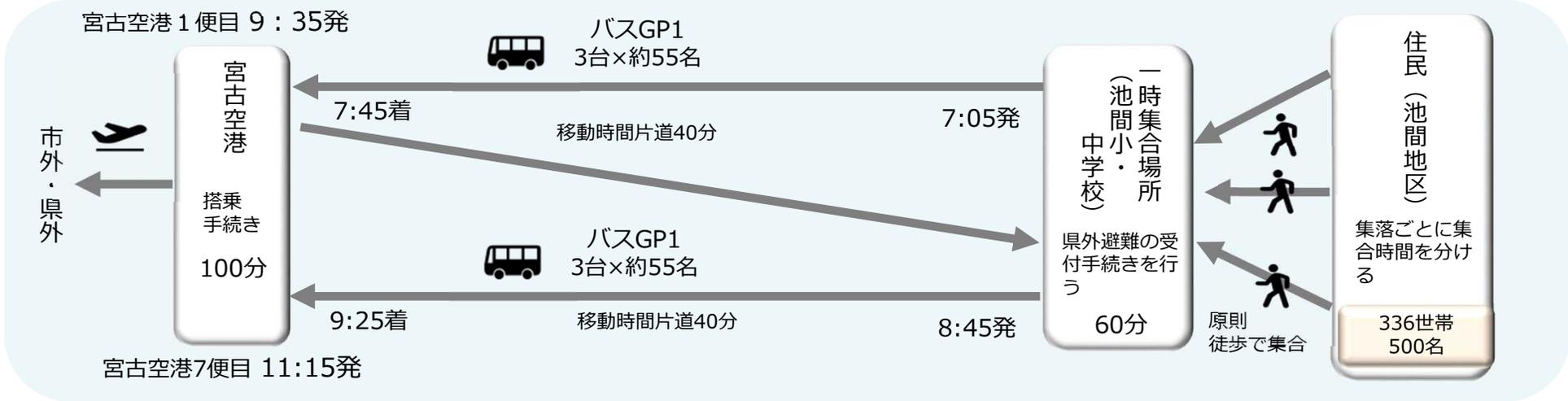
、上野中学校、下地中学校、鏡原中学校、旧来間小・中学校、砂川小学校、城東中学校、城辺小学校

ス ポ ット	機 体 名	搭 乗 手 続 き (100分)	空 港				バ ス											
			宮古空 港着	宮古空 港発	出 発 定 員	避 難 先				集 合 場 所 発	空 港 着	GP1	GP2	GP3	GP4	GP5	+ α	
						鹿 児 島	羽 田	中 部	関 西									
1	3	B738	7:55	9:00	9:35	160	○				7:25	7:45	3					
2	5	B738	8:10	9:15	9:50	160	○				7:40	8:00		3				
3	6	B738	8:25	9:30	10:05	160	○				7:55	8:15			3			
4	3	B738	8:45	9:50	10:25	160	○	別紙参照				8:15	8:35				3	
5	5	B738	9:00	10:05	10:40	160	○				8:30	8:50					3	
6	6	B738	9:15	10:20	10:55	160	○				8:45	9:05	3					

例えば、一時集合場所からの移動時間が40分の場合、大型バス3台を1グループとし、6グループで輸送。（約18台）

※島内バス会社へ協力要請

※移動時間 片道40分、乗降時間 各10分、搭乗手続き 約100分



宮古空港・バス運行時刻表②

一時集合場所：池間小・中学校、島尻漁港、福嶺小学校

バス移動：約40分

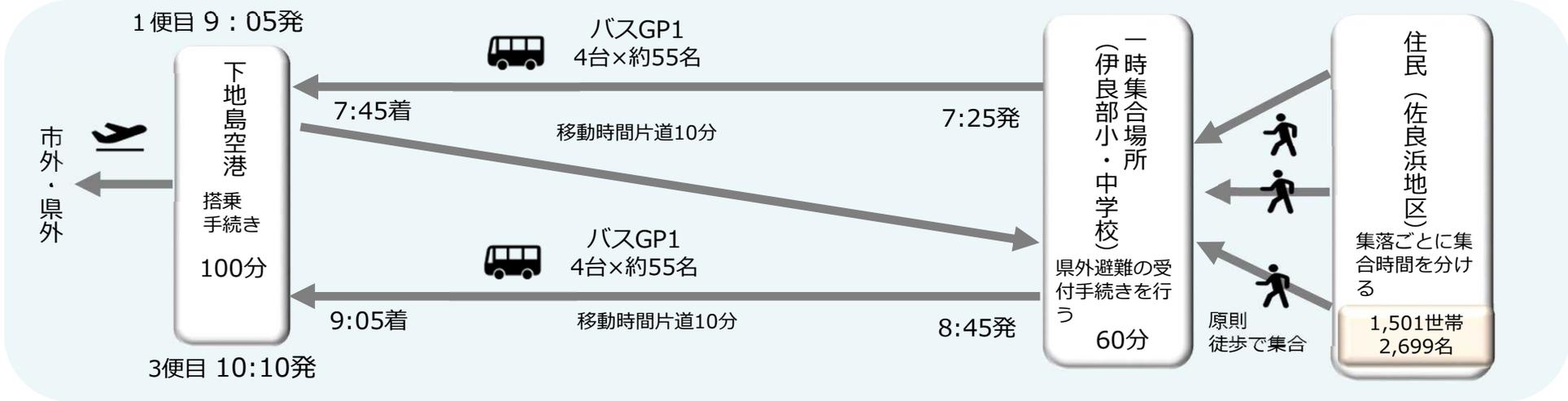
ス ポ ット	機 体 名	搭 乗 手 続 き (100分)	空 港				バ ス										備 考						
			宮古空 港着	宮古空 港発	出 発 定 員	避 難 先				集 合 場 所 発	空 港 着	GP1	GP2	GP3	GP4	GP5		GP6	+ α				
						鹿 児 島	羽 田	中 部	関 西														
1	3	B738	7:55	9:00	9:35	160	○				7:05	7:45	3										
2	5	B738	8:10	9:15	9:50	160	○				7:20	8:00		3									
3	6	B738	8:25	9:30	10:05	160	○				7:35	8:15			3								
4	3	B738	8:45	9:50	10:25	160	○				7:55	8:35				3							
5	5	B738	9:00	10:05	10:40	160	○				8:10	8:50					3						
6	6	B738	9:15	10:20	10:55	160	○				8:25	9:05							3				
7	3	B738	9:35	10:40	11:15	160	○				8:45	9:25	2										多良間島民搭乗

別紙参照

例えば、一時集合場所からの移動時間が10分の場合、大型バス4台を1グループとし、2グループで輸送。（約8台）

※島内バス会社へ協力要請

※移動時間 片道10分、乗降時間 各10分、搭乗手続き 約100分



下地島空港・バス運行時刻表①

一時集合場所：結いの橋学園伊良部島小・中学校、旧伊良部小学校

バス移動：約10分

No.	スポット	機体名	搭乗手続き (100分)	空港				避難先				集合場 所発	空港着	GP1	GP2	+ α
				下地島 空港着	下地島 空港発	出発定員										
							鹿児島	羽田	福岡	名古屋						
1	2	B737-800	7:25	8:25	9:05	170	○				7:05	7:15	4			
2	3	B737-800	7:55	8:55	9:35	170	○				7:35	7:45		4		
3	1	B737-800	8:30	9:30	10:10	170	○	別紙参照				8:10	8:20	4		
4	2	B737-800	8:55	9:55	10:35	170	○				8:35	8:45		4		
5	3	B737-800	9:25	10:25	11:05	170	○				9:05	9:15	4			
6	1	B737-800	9:55	10:55	11:35	170	○				9:35	9:45		4		

例えば、一時集合場所からの移動時間が30分の場合、大型バス4台を1グループとし、3グループで輸送。（約12台）

※島内バス会社へ協力要請

※移動時間 片道30分、乗降時間 各10分、搭乗手続き 約100分



下地島空港・バス運行時刻表②

一時集合場所：久松中学校、南小学校

バス移動：約30分

ス ポ ット	機 体 名	搭 乗 手 続 き (100分)	空 港				バ ス								
			下 地 島 空 港 着	下 地 島 空 港 発	出 発 定 員	避 難 先				集 合 場 所 発	空 港 着	GP 1	GP 2	GP 3	
						鹿 児 島	羽 田	福 岡	名 古 屋						
1	2	B737-800	7:25	8:25	9:05	170	○				6:45	7:15	4		
2	3	B737-800	7:55	8:55	9:35	170	○				7:15	7:45		4	
3	1	B737-800	8:30	9:30	10:10	170	○				7:50	8:20			4
4	2	B737-800	8:55	9:55	10:35	170	○				8:15	8:45	4		
5	3	B737-800	9:25	10:25	11:05	170	○				8:45	9:15		4	
6	1	B737-800	9:55	10:55	11:35	170	○				9:15	9:45			4

別紙参照

# 交通規制 (案)

交通規制は日常生活を維持しつつの避難となるため、空港前の主要路のみとする。一時集合場所については、状況に応じ規制を行う。

